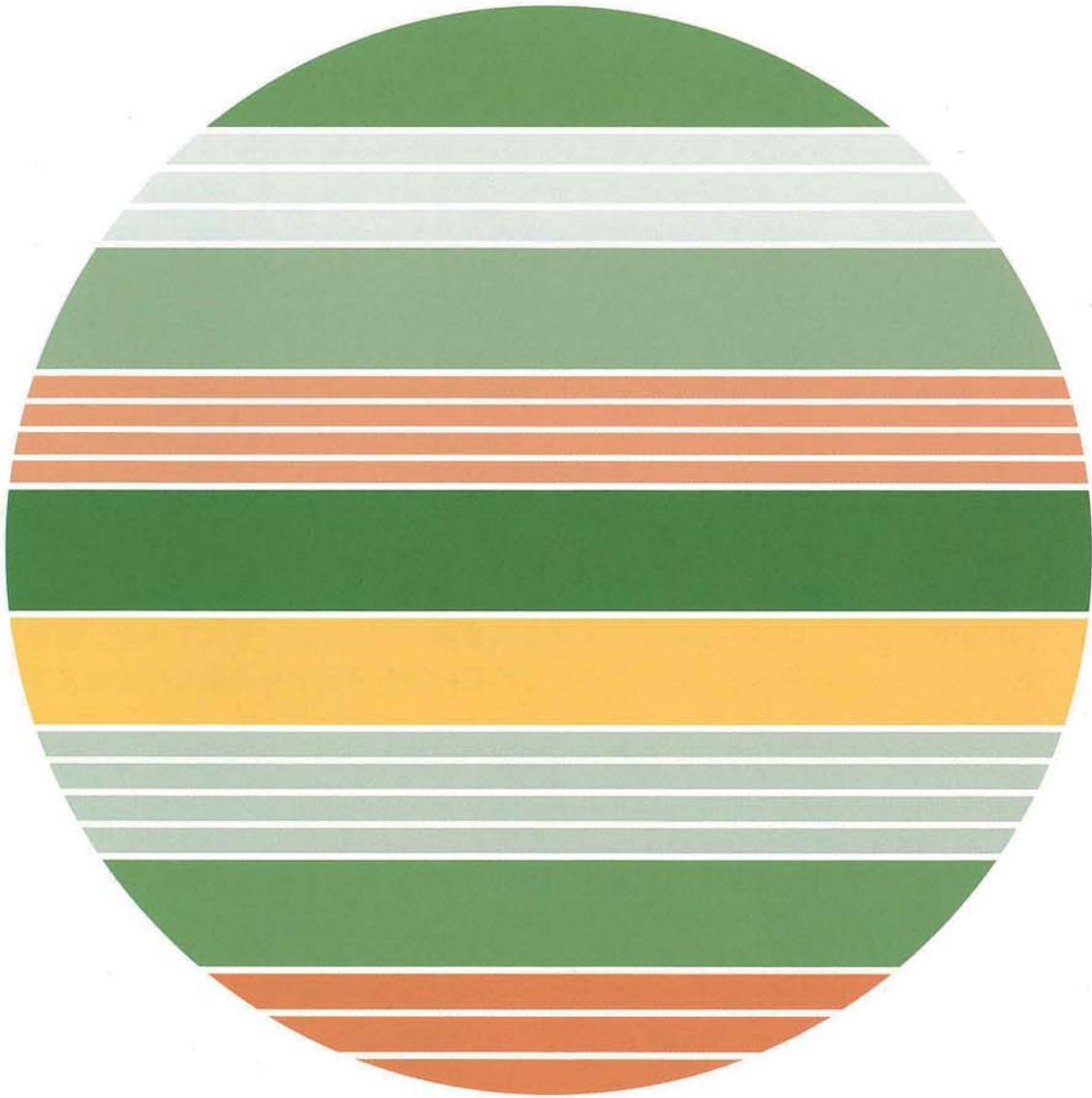




一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センター

第49回 地域活性化推進事業



第1部：講演会

『変わるお米の世界 — 産地はどう対応するのか —』

講師：五ツ星お米マイスター (株)スズノブ代表取締役 西島豊造 氏

第2部：おしゃれな農作業着ファッションショー

『ファーマーズ・レディス・コレクション 2015』

と き：平成27年11月26日(木) 13:30~15:15

ところ：プラザホテル板倉 深川市3条6番7号

主催：一般財団法人北海道農業近代化技術研究センター

後援：空知総合振興局・深川市・滝川市・妹背牛町・JAきたそらち・JA北いぶき・JAたきかわ・

水土里ネット：深川土地改良区・神竜土地改良区・空知土地改良区

ごあいさつ

一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センター
理事長 細越 良一

本日は、「地域活性化推進事業」にご参加をいただき、誠にありがとうございます。

当財団におきましては、公益事業の一つとして、毎年、農業や食などをテーマに講演会やシンポジウムなどを開催しておりますが、お陰様をもちまして、49回を迎えることができました。これも、ひとえに皆様のご支援・ご協力のたまものと、深く感謝申し上げます。

今年、財団創立50周年という記念すべき年でありますことから、これまでと少し趣向を変えまして、『講演会』と『農作業着ファッションショー』の2部構成で実施することといたしました。

第1部では、お米ソムリエとして多くのメディアでご活躍の西島豊造氏（米穀店（株）スズノブ代表取締役）を講師にお迎えし、『変わるお米の世界一産地はどう対応するのか』と題しご講演をいただきます。

西島様は、東京の一等地であります目黒で米穀店を経営するかたわら、北は北海道から南は九州まで、全国を飛び回って、お米の地域ブランドづくりなどを応援されている方でございますので、空知のこれからの米づくりについて、貴重なご示唆をいただけるものと確信しております。

第2部は、「ファーマーズ・レディス・コレクション2015」と銘打ちまして一昨年に引き続き、美瑛・富良野で農業に従事しながら、オシャレな農作業着を手づくりしている「び・ふらねっと」の3名のデザイナーをお招きし、農作業着ファッションショーを行います。

また、本日もご参加の女性農業者の皆様には、抽選で30名の方に、モデルさんが試着した農作業着をオーダーメイドで製作し、プレゼントすることとしておりますので、どうぞご期待ください。

当財団は、昭和40年に深川・滝川・妹背牛の農業者の皆様によって設立されて以来、地域農業の振興を図るため、食の安全・安心の基本となる土や水などの農村環境の保全や農業農村整備に関わる技術研究などに取り組んで参りました。

しかしながら、TPPの大筋合意など、急激な国際化の進展の中で、農業を取り巻く情勢は一層厳しさを増しておりますので、今後は生産者と消費者が一体となって農業を守り育てる、そうした仕組みづくりにも積極的に取り組んで参りたいと考えております。

結びになりますが、今後とも、当財団の事業の推進に、一層のご理解とご協力をたまわりますようお願い申し上げます、開会に当たってのご挨拶といたします。

次 第

1. 開 会

2. 主催者挨拶

(一財) 北海道農業近代化技術研究センター
理事長 細越 良一

3. 来賓挨拶

北海道空知総合振興局長 金田 幸一 様

4. 講師紹介

5. 講演会

(株) スズノブ 代表取締役 西島 豊造 様

6. 農作業着ファッションショー

7. 閉 会

五ツ星お米マイスター 西島 豊造 (にしじま とよぞう)



北里大学獣医畜産学部卒業
家業の米屋（東京目黒）、「株式会社スズノブ」代表取締役

日本全国の生産地をまわり、産地の特徴を活かした地域ブランド米作りと地域活性化を支援。
お米ソムリエとして多くのメディアで活躍中。

【著書】
「米の達人が教えるごはん基本帳」（家の光協会）
「今日はこの米コシヒカリの子孫たち」（NHK出版）

<http://www.suzunobu.com/>



【ご講演内容】 『変わるお米の世界 — 産地はどう対応するのか —』

- ・ 特Aを求める理由
- ・ 県主導のブランド化
- ・ ブランド化のミスは命とり
- ・ 変わるお米
- ・ 差別化が全て

び・ふらねっと (菅野三津子・井川公子・竹内紀代子)

美瑛町、富良野市でそれぞれ農業に従事する主婦3名でつくる「び・ふらねっと」。

日々の農作業の中から得たアイデア（機能性・利便性）を取り入れて、着ていて楽しくなるような農作業着をデザイン、制作、販売しています。

「び・ふらねっと」のおしゃれな農作業着・帽子などは「ファームランドJAびえい店」、オンラインネットショップ「び・ふらねっと」でもご購入できます。

<http://bifura.net/>



おしゃれな農作業着

■ 財団事業のご紹介 ■

当財団は、昭和40年に石狩川の水質汚濁防止運動の所産として、深川市、滝川市、妹背牛町の農業者により設立されて以来、農業農村整備や農村環境保全に関する様々な調査研究を行ってきましたが、最近では、これらに加え、地元農産物のブランドイメージの確立に向けた直売市の開催や地産地消等に取り組む団体への助成などにも取り組んでいます。

■ アンテナショップ構想の推進

北空知・中空知「新鮮農産物直売市」の開催

地域ブランド力を高めるため、深川・滝川・妹背牛の3市町の農産物及びこれらの加工品を販売する直売市を、財団の札幌支所NKエルムビル1階で昨年に引き続き開催しました。

- ・北空知・中空知「新鮮農産物直売市」(7月、8月、10月、11月、計8日間)
- ・東日本大震災チャリティミニ直売市(7月～9月、計9日間)

直売市スペースの貸出し

財団が直売市として利用しているスペースを、道内の市町村や農業者等が組織する団体にも、広く活用していただくため、無料で貸出しています。

今年度で開催された直売市は以下のとおりです。

- ・ふかがわ農産物フェア(2日間)
- ・蘭越町特産物品即売会(2日間)
- ・しんとつかわ農産物フェア(6日間)

なお、直売市スペースの有効活用のため、芸術・文化や地域コミュニティ活動など営利を目的としない団体・個人に低料金で貸し出しました(計20日間)。

■ 首都圏での米の販売促進活動の推進

東京高島平団地で新米ふっくりんこを配布

北海道米の知名度アップを図るため、10月25日に板橋区高島平団地において、新米ふっくりんこのサンプル米配布活動を行いました。

■ 農業者の情報発信を支援

農家看板設置事業

深川市、滝川市、妹背牛町に在住する農業者及び農業者グループを対象に、農家名や生産情報などを記載した看板設置に助成しています。

ホームページ作成事業

消費者との交流促進や農業情報発信のためのホームページ作成・管理を無料で行っています。

■ 農村後継者の育成を支援

深川市、滝川市、妹背牛町にお住まいの認定農業者(配偶者を含む)及び農業後継者を対象に、海外農業研修への助成を行っています。

- ・方式: 日本農業新聞が実施する海外農業研修視察団へ参加
- ・実施時期・内容: 平成27年11月、アメリカ(受付終了)
平成28年2月、ヨーロッパ

北空知・中空知「新鮮農産物直売市」



しんとつかわ農産物フェア



ふかがわ農産物フェア



首都圏での米の販売促進活動



農家看板設置事業



一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センター

深川事務所 〒074-1271 深川市広里町4丁目1番3号 TEL: 0164-25-1591 FAX: 0164-25-2117

ホームページ: <http://www.hamc.or.jp/>